

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第2回宮古市市民自治推進委員会を次のとおり開催しました。

令和7年7月1日

宮古市市民自治推進委員会

- 1 開催日時
令和7年6月26日（木） 午後1時30分～午後5時
- 2 開催場所
宮古市地域創生センター うみマチひろば 2階 会議室・実習室
- 3 議題
 - （1） 参画の実施状況について
 - （2） 協働の実施状況について
 - （3） 令和6年度実施提案事業の評価について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
企画部 企画課 企画創生係
電話0193-68-9064

令和7年度 第2回 宮古市市民自治推進委員会【開催結果】

1 出席者（10名）

①昇高茂樹委員 ②畠山兼委員 ③川口太嗣委員 ④澤田優美委員
⑤山崎一美委員 ⑥本多政彦委員 ⑦川上寿恵委員 ⑧佐可野瑞穂委員
⑨門坂知実委員 ⑩島崎育委員

2 欠席者（5名）

①外館織絵委員 ②澤田亮委員 ③佐々木優委員 ④佐々木聡子委員
⑤中村なつみ委員

3 事務局出席者（8名）

①企画部長 岩間健 ②企画部企画課長 久保田英明
③企画部企画課企画創生係長 竹田真吾 ④同係 主任 千葉志美
⑤市民生活部長 西村泰弘 ⑥市民生活部市民協働課長 和美邦彦
⑦市民生活部市民協働課男女参画・協働推進係長 小向和美
⑧同係 主事 船越七海

4 発表者（事業実施団体・市担当課）

No.	事業名	事業実施団体	市担当部署
1	8020運動推進事業「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会	新里保健センター
2	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい	こども家庭センター
3	めざせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会	健康課
4	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体	福祉課
5	コミュニティガーデン「花かおる散策路」	みずき会	商業振興課
6	昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい	観光課
7	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」港町鍬ヶ崎の地区の賑わい創出事業	鍬ヶ崎元気市の会	商業振興課
8	こどものまち「みやっこタウン」を軸とした地域でのキャリア教育事業の実践とネットワーク形成	NPO法人みやっこベース	学校教育課
9	企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業	NPO法人みやっこベース	企業立地推進課

5 傍聴者 なし

6 議事等

(1) 参画の実施状況について【担当：企画課】

資料1に基づき担当から報告。質問・意見等なし。

(2) 協働の実施状況について【担当：市民協働課】

資料2に基づき担当から報告。質問・意見等なし。

(3) 令和6年度実施提案事業の評価について【担当：市民協働課】

資料3に基づき、評価方法について担当から説明。

その後、事業実施団体及び担当部署から事業報告のプレゼンテーションを行い審査。

各委員から質疑応答を受け評価を実施した。

※プレゼンテーション内容は省略。次のとおり意見・質疑を受けた。

質問・意見	回答
【8020運動推進事業「みんなの歯を磨き隊」】 (委員) 資料の実施報告に「体制が整わないので実施できず」と記載があるが、具体的にどのような状況か。	(宮古歯科医師会) 保育所・幼稚園側とスケジュールが合わない・ボランティア(歯科スタッフ)の数が足りない等の理由で実施できない時がある。
(委員) ボランティアの募集は、「歯っぴい～すまいる」で行っているようだが、そのほかの募集方法は。	(宮古歯科医師会) 広報みやこでも周知しているが、なかなか集まらない。新規の方はほぼおらず、高齢化が進んでいる。
(委員) う歯有病者率が低下しているのは素晴らしいが、実施できない保育所・幼稚園があるのは残念。 保護者に協力を仰ぐのはどうか。	(宮古歯科医師会) 難しいのが現状。 保護者とも連携できれば助かる。
(委員) 資料の実施報告を見ると、「実人数1人、延人数18人」となっているところがある。 1人の歯科医師が18人を診ているということか。	(宮古歯科医師会) そのとおり。 それぞれに担当歯科医師が決まっているので、担当の範囲内でボランティアで実施している。

(委員) 今年度から、委託事業として行われているということだが、担当課のサポートに変化はあるか。	(新里保健センター) 大きく変わるころはなく、協力して事業実施している。
【家庭訪問型子育て支援事業】 (委員) プレゼンテーション資料に記載のある「訪問件数14件、訪問回数75回」とは。 (委員) 核家族化・少子化の中で大事な取り組みと感じる。 事業の周知はどのように行っているか。また、スタッフは足りているか。 (委員) 私も子育て支援のお手伝いをしているが、お母さんの話を聞くと相談するのが難しいと聞く。必要な活動と感じる。	(特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい) 基本的に1件の申し込みにつき、7回訪問することとなっている。 申込者のニーズが変わった場合、1回目からのスタートになる。 (特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい) 周知は、事業担当部署と共に十分にできていると感じる。 ボランティアが21名おり、今のところお待たせすることなく実施できている。
【めざせ！元気なみやこっ子食育教室】 (委員) 令和6年度は市内のすべての小学校を訪問してはいないようだが、なぜか。 (委員) 簡単に食べられる朝ごはんとは、どのようなものを勧めているか。 (委員) 子どもに対するアプローチだけだと、食育に対する取り組みは難しいのではないか。保護者も一緒に勉強する機会があると良いのでは。	(宮古市食生活改善推進員協議会) 旧宮古市の小学校は隔年に1度の訪問としていたため。 (宮古市食生活改善推進員協議会) 具沢山の味噌汁を勧めている。地元食材に触れる機会も大切にしているので、トラウトサーモンのバター焼きも紹介している。

(委員) 学んだことを生かして家庭で調理する際に、食材を買うのは大人。安価に作れるものを提案いただけると良いのでは。 (委員) 今年度から市内の全小学校で行われているとのことなので、頑張ってもらいたい。	
【社会的孤立を支援する事業】 (委員) 新規の支援対象者は若年層が増えてきているとのことだが全支援対象者の年齢分布はどうなっているか。 (委員) ひきこもりの方に対して、周りができることは何か。 (委員) アウトリーチはどういったところにポイントを置いて行っているか。 (委員) ひきこもりの方には、精神疾患を抱えている方もいると思う。どういった対応をしているか。 (委員)	(社会的自立支援共同事業体) 支援対象者は、10代から60代まで様々な方がいる。平均年齢は36歳くらい。全体的には高齢化しているが、新規の方は10代が多いため平均年齢が下がっている。 30代～から40代の方が最も多い。 (社会的自立支援共同事業体) 本人が社会とのつながりを受容してくれるかが最も大切。 第三者が本人と話せる状況ができれば支援につながる。 (社会的自立支援共同事業体) 訪問相談だけではないと考えており、SNSを使って情報を届けていきたいと考えている。「ひきこもりの4割の方は、ネットでのつながりを感じている」という調査結果もあるので、そういったところから関係性を築きたい。 訪問は拒否されることが多い。外に関心を持てる状況を作りたいので、体験活動を重視している。 (社会的自立支援共同事業体) 支援対象者の半分は、医療機関にかかっている。病院とも連携している。 (社会的自立支援共同事業体)

小学生・中学生・高校生の中にも不登校の子がいると思う。学生も支援対象か。	学生に対しては主に学校に伺って、状況確認している。
【コミュニティガーデン「花かおる散策路」】 (委員) 資料の「みずき会 令和6年度活動報告」に「担当課との打ち合わせ」とあるが、このほかにも市とやり取りを行っているか。 (委員) 香り袋の作成を2年連続で行っているようだが、手ごたえは。 (委員) 和紙を使った商品は、海外の方からの反応も良いのではないかと思います。制作活動を継続していくことで、客船の観光客にも喜ばれるだろう。 (委員) 宮古小学校・山口小学校・宮古第一中学校と協力しているが、家族を巻き込んでいくためには様々な学校に活動を広げてみてはどうか。	(みずき会) 活動を行う前には必ずお知らせしている。一緒に活動できるときは行っている。 (みずき会) 初年度は30袋生産し、すぐに完売した。昨年度は市内で生産された和紙とコラボした。袋を宮古産の和紙で制作し、カバーを浄土ヶ浜エターナルグリーン色に仕上げ、宮古市らしさを前面に出した商品を作ることができた。今年度はこういった香り袋にするのか、具体的にはまだ決まっていないが、ハマギクを使用した作品になると考えている。 (みずき会) 明日も客船が寄港するので、店頭に並べたい。 (みずき会) 学校とは、地域コーディネーターを通じて連絡を取っている。相談して、可能であれば広げていきたい。
【昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～】 (委員) 子どもの参加を増やすことによって、季節ごとの催しに興味を持つと思う。 客船に対してのおもてなしは、宮古に対していい印象を持っていただけたらと思うので、継続いただきたい。	

(委員) 宮古第一中学校の生徒がひなフェスを企画したということだが、中学校から話があったのか。参加人数は。 (委員) 昭和通りのおかみさんもてなしたいとして、ほかの団体と連携した事例はあったか。みずき会と一緒に取り組みにしているか。	(昭和通りのおかみさんもてなしたい) お雛様の文化が薄れていると感じたため、団体側から提案した。 参加者は20名程度。 (昭和通りのおかみさんもてなしたい) 企業との連携が多い。 商店街やみずき会とも連携してやれるようになれば、もっと集客があると思う。若い方が参加できるような事業に発展していきたい。
【「鍬ヶ崎に賑わいを！」港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出事業】 (委員) 大船渡への支援として行われた物販は、どのようにして実施したのか。 (委員) 市外へ向けた周知は行っているのか。 (委員) 地域の方から要望・苦情はないか。 (委員) イベント当日の人流はどうなっているか。	(鍬ヶ崎元気市の会) 構成団体の1つがもともと大船渡の商品を販売していたことから実現した。 (鍬ヶ崎元気市の会) 来場者に対し、公式LINEへの登録を促している。 (鍬ヶ崎元気市の会) 以前は、騒音の苦情があった。 地域の方から買い物をする場所がないと聞くので、生鮮食品を扱う店舗に出店をお願いしている。水曜の市の開催にも発展した。 (鍬ヶ崎元気市の会) 浄土ヶ浜で同日にイベントがあったときは、双方の行き来があった。 元気市での出会いをきっかけにお店に来訪する方もいる。

【こどものまち「みやっこタウン」の開催】

(委員)

みやっこタウンの市長が誕生したということだが、具体的にどんな仕事をしたのか。

(委員)

ジュニアスタッフは、過去にみやっこタウンに参加した人か。

(委員)

ベスカを残しておくことができるのか。

(委員)

発達障害・知的障害をもつ子が参加したいときに手伝ってくれる大人はいるのか。

(委員)

2日間の開催になったという事だったが、どうだったか。また、今後の予定は。

(NPO法人みやっこベース)

1日目に大学で学んで立候補し、2日目に選挙が行われた。時間が少なく、市長としての活動は少なかったが、山本宮古市長にみやっこタウンを案内したり、市役所ブースで困りごとを聞いて調査する仕事を手伝ったりした。

(NPO法人みやっこベース)

6人中5人が経験者だった。

(NPO法人みやっこベース)

みやっこブックというものを用意しており、そこに記録することでベスカを引き継げる。

みやっこベース主催の他のイベントでも使えることがある。

(NPO法人みやっこベース)

障害の有無関係なく、スタッフがサポートしている。今後、支援学校等にも案内していきたいのでサポートの仕方について検討したい。

サポートできるということをチラシ等で周知したい。

(NPO法人みやっこベース)

基本的には2日通しで参加してもらった。予想より多く参加いただいた。

2日間開催で、より充実したイベントになった。

今年度も10月12日・13日に開催予定。

参加者数を限定して中学1年生も対象にする予定。

(委員)

(委員)

(委員)

(NPO法人みやっこベース)

記事は、みやっこベースのnoteで発信している。参加企業各社のホームページにリンクを貼ったり、市のホームページに発信したりしている。

(NPO法人みやっこベース)

大学生向けには1週間期間を設けて行っているが、高校生向けには2～3日間のライトな形で実施できたらと考えている。

高校生が企業で学んだことを大学生に伝える形で行えたらと思う。

これまでインターンシップに参加した大学生の感想を高校生に聞かせたい。

宮古市市民交流センター運営協議会委員の推薦について、担当から説明。

(5) 閉会 (17時)